



## メイショクアソシエイツ分会の南須原分会長 傍聴支援も力に解雇の不当性を地裁で立証



裁判後に横浜地方裁判所玄関前で行われた報告集会

建交労神奈川ダンプ支部メイショクアソシエイツ分会の組合活動で多くの成果を実現していた南須原分会長は、2020年12月22日に社長から呼び出され個人情報の目的外利用を理由に突然論旨解雇を通告されました。南須原分会長がそれを拒否すると有無を言わず社長から懲戒解雇が言い渡されました。

この不当解雇撤回・職場復帰をめざしてたたかってきた横浜地裁での裁判闘争は12月

19日に最終審理として最初で最後の原告・被告双方による証人尋問が行われました。証人尋問が行われたこの日は40人近い支援傍聴者が詰めかけ法廷はほぼ傍聴者で埋まりました。最初に証人尋問を行った社長は懲戒解雇の正当性を証明できる証言は当然のことながらありませんでした。続いて南須原分会長は大勢の支援者も力にして解雇の不当性を立証して結審しました（判決日は未定）。

## 県南支部・JR川崎駅前での宣伝行動実施 執行委員5名でティッシュビラ300個配布！

神奈川県南支部執行委員は12月17日に執行委員会前の時間帯でJR川崎駅前での宣伝行動にとりくみました。川崎駅前での宣伝は5月28日以来7ヵ月ぶりの取り組みでした。師走の厳しい寒さではありましたが幸い快晴に恵まれたなかで気持ちの良い行動となりました。

参加者は小島委員長、金崎書記長、佐藤執行委員、須田執行委員、赤羽の5名と少人数でしたが年の瀬の混雑する川崎駅前を忙し気に行き交う人々のビラの受け取りは相変わらずよくて準備した300個のティッシュ付きビラはたちまち配りきり年内最後の宣伝行動を無事に終了することができました。統一地方選挙の来年は宣伝行動を強化します。



宣伝行動に参加した支部執行委員の仲間たち

# 憲法改悪を許さない全国署名

行き詰まって相次いで政権を投げ出した安倍・菅政権をひきついだ岸田文雄政権は、2021年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は中国や朝鮮を念頭に違憲の「敵基地攻撃能力の保有」となえ、歴代政権がかろうじて維持してきた防衛費の対GDP比1%以内の原則をも放棄して2%以上を主張するなど、米国をはじめ欧米諸国との軍事協力を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの緊張を高めています。しかし、この道の障害になるのが憲法9条など、日本国憲法の理念です。

改憲派は次の参議院選挙をにらみながら、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを内容とする自民党改憲4項目案をベースにして、国会の憲法審査会での改憲案づくりを急ごうとしています。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての戦争に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生向上などを実現する政治を求めます。

## 【請願事項】

- 1、自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

名 前	住 所

※いただいた署名は国会請願と首相への要請以外には用いません。

呼びかけ団体 **9条改憲NO! 全国市民アクション**

ホームページ：<http://kaikenno.com> メールアドレス：[info@kaikenno.com](mailto:info@kaikenno.com)

ツイッター [twitter.com/no9kaikenno](https://twitter.com/no9kaikenno)  
インスタグラム [instagram.com/9jyokaikenno/](https://www.instagram.com/9jyokaikenno/)  
フェイスブック [facebook.com/kaikenno/](https://www.facebook.com/kaikenno/)



kaikenno.com

### 連絡先

- 戦争をさせない1000人委員会 (☎03-3526-2920)  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条壊すな! 実行委員会 (☎03-3221-4668)  
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
- 戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター (☎03-5842-5611)  
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会 (☎03-3221-5075)  
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

取り扱い団体

内閣総理大臣 殿

## 唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

**私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。**

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏のおよびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

**【取扱団体】**

**連絡先：署名事務局**（原水爆禁止日本協議会）  
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4  
電話：03-5842-6031